

森ライ白書 2013

The Life Style Research Institute of Forests White Paper 2013

INDEX

P2	MESSAGE	NPO 法人のライフスタイル研究所 代表理事 所長・遊撃隊員 竹垣英信
P3	COMPETENCE	日本の森林に必要なこと、それは人々がもっと森林に関心を持つこと
P4	POLICY	「木をまなぶ」「木にふれる」「木を使う」
P5	PROJECT	1 都 4 県 10 ヲ所のフィールドで森づくりプロジェクトを展開！
P6		長野県 佐久市大沢地区 ヒノキの経済林づくりプロジェクト 長野県 東御市田之尻地区 どんぐりの森 里山再生プロジェクト
P7		長野県 木島平村 カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト 千葉県 山武市 蓮沼殿下海岸 3.11 復活の森プロジェクト
P8		東京都 檜原村 ツリークライミング体験会 チェーンソー講習会・体験会
P9	CSR SUPORT	三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社 様 / 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 様 / 国際投信投資顧問株式会社 様 / MUS ビジネスサービス株式会社 様 (千葉県山武市蓮沼殿下海岸) 八十二銀行 様 (長野県中川村陣馬形山牧場跡) コスモ石油エコカード基金 / コスモ石油株式会社 様 (長野県東御市田之尻)
P10		シティグループ 様 (千葉県匝瑳市堀川浜) モルガン・スタンレー MUFG 証券 様 / 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 様 (千葉県山武市蓮沼殿下海岸) 積和建設関東株式会社 様 (千葉県山武市蓮沼殿下海岸)
P11		TOTO バスクリエイト株式会社 様 / TOTO ハイリビング株式会社 様 (千葉県山武市蓮沼殿下海岸) 株式会社 キッツ 様 (千葉県山武市蓮沼殿下海岸) 八十二銀行 様 (長野県木島平村カヤの平高原牧場)
P12		シティグループ 様 (神奈川県横浜市港北区 鶴見川) 伊藤忠建材株式会社 様 (長野県木島平村カヤの平高原牧場) 前田建設工業株式会社 様 (長野県佐久市大沢)
P13-14	CALENDAR	2013 年の活動カレンダー
P15	DATA	2013 年の森ライの“数字”をご紹介します
P16		森づくりツアー参加者の年齢構成 / 森づくりツアー参加者の男女別の年齢構成
P17		森のライフスタイル研究所の認知経路 / 森づくりツアーの認知経路
P18		森づくりツアーへの参加理由 / 森づくりで好きな作業 / 森づくりツアーの満足度
P19	2014 ACTIVITY	ヒノキの経済林づくりプロジェクト / どんぐりの森 里山再生プロジェクト 3.11 復活の森プロジェクト
P20		和田峠スキー場跡地を森へ還すプロジェクト / カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト / ツリークライミング体験会 チェーンソー講習会
P21	NEW PROJECT	アカマツの森 里山復活プロジェクト (長野県伊那市富県) 薪の森 里山復活プロジェクト (長野県佐久市大沢) おにいさんと遊ぼうプロジェクト (東京近郊)

MESSAGE

噂になる森づくり活動をめざして。 さらに前進していきます。

2013年は、森のライフスタイル研究所設立10周年のメモリアルの年でしたが、浮かれることなく、32回もの森づくり活動を1人の怪我もなく終えることができました。毎回、活動に救命救急士を派遣し、延べ1,584人も参加者の安全を見守ってくださった株式会社ピースフルの皆さまには改めて感謝いたします。そして、献身的な心を持って活動に参加してくださった1,584人の皆さま、ありがとうございました。

2013年は1都4県の10ヶ所のフィールドで、延べ9.92ヘクタールの森づくりができました。10を超える企業CSR活動のサポートもできました。どの活動にもたくさんの「笑顔」があり、森のライフスタイル研究所がめざす「正しいことを楽しく」が実践できたように思います。

森づくりには数十年、いや数百年の長い年月が必要です。そのためには持続性のある活動をしていくことが重要です。「正しい」ことを「楽しく」行うことで、ご参加いただいた皆さまが、長期間にわたり森づくりに関わってくださるようになるのが、私たち森のライフスタイル研究所のポリシーです。

森のライフスタイル研究所では、2009年から現在のような形で「森づくりツアー」を行ってきました。当初は、こういった活動自体が珍しく、マスメディアからの取材も多く、そのことが参加者を増やす一助となっていました。当時、参加者にどこでこの活動を知りましたか？とお聞きすると「テレビで見て」「ラジオで聞いて」という回答が圧倒的に多かったものです。しかし、2013年は、森のライフスタイル研究所のことを「友人・知人に聞いて知った」と回答の方が全体の5割近く、森づくりツアーに関しても「友人・知人に聞いて知った」と回答の方が全体の3割近くを占めていました。マスメディアの力に頼らず、参加者の口コミで活動の輪が広がっていることは、私たちにとってたいへんありがたいことです。参加者一人ひとりが活動の主旨に共鳴し、活動の魅力を他の人に広めてくれています。これからも、参加された方が誰かに話たくなるような活動をめざして森づくりツアーを運営していきます。

さて、2012年に続き今年も2013年の森づくり活動をまとめた「森ライ白書」を作成しました。私たちの活動をご理解いただくための資料として、また各企業の皆さまの環境活動、CSR活動をお考えになるうえでのヒントとなる資料としてご活用いただければ幸いです。

私たちがこの活動を続けていくためには、各企業や各機関の皆さまのご支援なくしてはありえません。今後も、当団体へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

NPO 法人森のライフスタイル研究所
代表理事 所長・遊撃隊長 竹垣英信



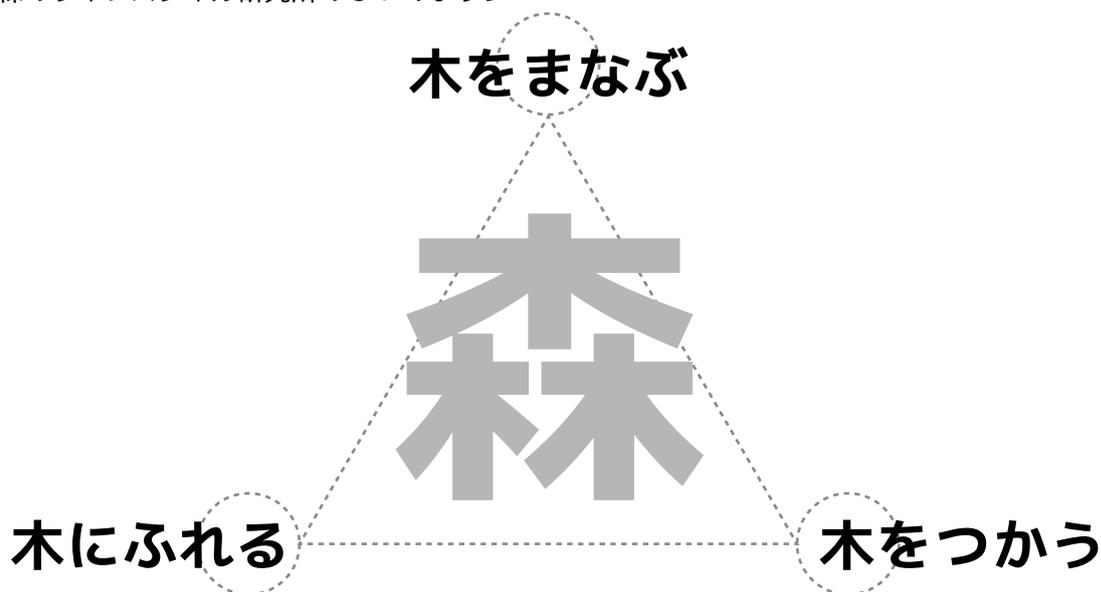
OUR COMPETENCE

日本の森林に必要なこと、 それは人々がもっと森林に関心を持つこと。

日本の森が荒廃している！と叫ばれはじめてから久しく時が経ちますが、依然として未整備の森が多く、日本の森は荒廃したままです。森が荒廃してしまった原因は、森の手入れをする林業従事者の高齢化や減少、木材需要の低下、材価の低迷による林業そのものの衰退などさまざまな問題が指摘されますが、一般の人たちの森や林業に対する関心が低いことも大きな原因の一つだと森のライフスタイル研究所は考えています。とくに都会で暮らす人たちは、森と接した経験が乏しく、森のことを知りません。自分の心の中にないものを、いくら大切にしろと言われてたところでピンとこないのではないのでしょうか。

森のライフスタイル研究所は、都会で暮らす人たちと森の窓口として、3つのポリシーを大切に考えています。一つが「木をまなぶ」、2つ目が「木にふれる」、そして3つ目が「木をつかう」です。3つの「木」から「森」がつくられると考え、これからも人々と森をつなぐ活動を展開し、森への関心を高めることで、日本の森の活性化を図っていきます。

■森のライフスタイル研究所の3つのポリシー

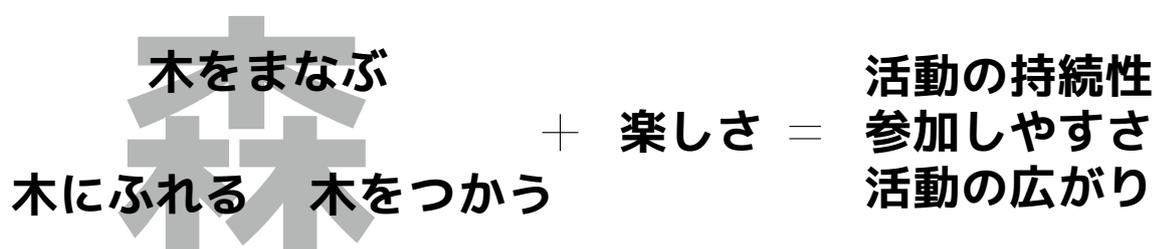


正しいことを、楽しく。

そしてこの3つのポリシーを持続させていくために、森のライフスタイル研究所では、「楽しさ」というファクターを活動の重要なキーと定めています。どんなに意義のある正しいことでも、その活動が辛く苦しいものでは、なかなか普通の人たちはついてこれられません。

そこで3つのポリシーに楽しさをプラス。「正しいことを、楽しく」というのが、森のライフスタイル研究所流の森づくりのあり方です。

■森のライフスタイル研究所の森づくり活動の公式



木をまなぶ。

森づくりツアーでのバスの中やフィールドでの森林学習に加えて森ライミーティングやシンポジウム、学習会を開催し、森林や林業についての知識を深めていきます。2013年からは、森林整備のより高度な技術を学ぶためにチェーンソー体験会、講習会をはじめました。



木にふれる。

森のライフスタイル研究所の森づくりツアーでは、四季折々の森林整備活動を参加者の手で実際に行っています。春の植林、夏の下草刈り、秋と冬の伐採・地拵え作業。さまざまな体験を通じて、森を身近に感じられるように活動しています。



木をつかう。

普段の生活で使うものからも森を感じてもらおうと、森のライフスタイル研究所では、間伐材を利用したオリジナルのピンバッジやハンガーを用意しています。他にも、ヒノキの間伐材を使ったマイ箸づくりや森で伐った木を利用するNisseづくりも行っています。



PROJECT

1都4県10カ所のフィールドで森づくりプロジェクトを展開！



2013年の森のライフスタイル研究所の活動は、1都4県にまたがる10カ所のフィールドで展開いたしました。

長野県

・木島平村…カヤの高原牧場未利用放牧地
木島平ブナの森づくりプロジェクト

・東御市…田之尻地区
どんぐりの森 里山再生プロジェクト

・佐久市…大沢地区
ヒノキの経済林づくりプロジェクト
チェーンソー講習会
協力：NPO 法人信州そまびとクラブ

・長和町…和田峠スキー場跡地
和田峠スキー場跡地を森へ還すプロジェクト
※2013年は地域の植樹祭として実施

・中川村…陣馬形山牧場跡地
牧場を森林に戻そう！プロジェクト（八十二銀行 82周年記念ボランティア活動）



千葉県

・山武市…蓮沼殿下海岸防災林
3.11 復活の森プロジェクト

・匝瑳市…堀川浜海水浴場付近の海岸防災林
津波被害林復興プロジェクト（シティグループのグローバル・コミュニティ・デーのボランティア活動）

神奈川県

・横浜市…港北区綱島西付近の鶴見川
水辺の生物多様性回復プロジェクト（シティグループのボランティア活動）
協力：NPO 法人鶴見川流域ネットワーク



東京都

・檜原村…都民の森／藤倉地区の山林
ツリークライミング体験会・チェーンソー体験会
協力：株式会社 東京チェーンソーズ



和歌山県

・田辺市…田辺市本宮町
／世界遺産・熊野古道に面した人工林
熊野 木霊の森プロジェクト
※協賛企業募集中

PROJECT

長野県 佐久市大沢地区 ヒノキの経済林づくりプロジェクト

2010年11月よりスタートした森づくり活動です。バブル期にゴルフ場建設予定地となっていたため森林整備が行われず、荒廃してしまった大沢地区財産区の3haの森を再生させています。林道に隣接しているなど立地条件がよいのと、地元の人たちの要望もあることから、ヒノキ経済林として将来、木材を産出できる森に育てていきます。すでに2011年(1,500本)、2012年(2,400本)、2013年(1,600本)の3回にわたって合計5,500本のヒノキ苗木を植林。2013年に伐採&地拵えをしたエリアに2014年4月に植林を行えば、3haの森への施業が終了します。今後数年は夏期に下草刈りを行い、苗の生育を見守っていきます。

◎このプロジェクトは、前田建設工業株式会社（MAEDAの森 in 佐久）、国土緑化推進機構（緑の募金）のご支援により実施しています。



長野県 東御市田之尻地区 どんぐりの森 里山再生プロジェクト

2010年5月に山火事によって焼失してしまった山林に、広葉樹の苗木を植えて、地域の人たちや子どもたちが憩える里山林に再生する活動です。2011年5月より植林を開始し、2013年までに約12,000本のコナラ、ヤマザクラなどの苗木を植え、約4haの焼失林への植林を完了しました。今後は下草刈りを行い、森を育てていきます。このプロジェクトでは信州大学の協力を得て、生物多様性に関する調査も続けています。今までの調査によると、植林を始めてから多様な昆虫類の生息が確認され、国蝶であるオオムラサキや希少種の蝶やトンボなども確認されています。また、地域の幼稚園児たちがお散歩の時に拾ってきたどんぐりを苗床で育てる「どんぐり還し」の活動も行っています。

◎このプロジェクトは、コスモ石油エコカード基金のご支援により実施しています。



PROJECT

長野県 木島平村 カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト

今年からスタートした新プロジェクトです。長野県北部の木島平村にあるカヤの平高原には、広大なブナ原生林が広がっています。その一角にあるカヤの平高原牧場は、夏の間の牛や羊の放牧地として利用されています。しかし、近年になって牛乳消費量の減少や飼育法の変化などにより放牧地を利用する牛が少なくなってきました。そこで木島平村は、未利用放牧地を元のブナ林に戻すことにしました。森のライフスタイル研究所は、長野県や木島平村と協力して、林縁部からブナの実生の苗を掘り採り、未利用放牧地に移植することでブナの森に還す活動に取り組んでいます。このような方法で、ブナの森づくりを行うのは全国でも稀なケースです。ブナは生長が遅いため、森に還るのには何十年、何百年の歳月がかかります。300年後にこの森林が世界自然遺産になることを願って、そのプロジェクトを進めています

◎このプロジェクトは、環境再生保全機構「地球環境基金」、東京ガス環境おうえん基金、三機工業「SANKI YOU エコ貢献ポイント」、グローリー株式会社、和信化学工業株式会社のご支援により実施しています。



千葉県 山武市 蓮沼殿下海岸 3.11 復活の森プロジェクト

2011年の東日本大震災による津波で被害を受けた海岸林を復活させる取り組みです。津波の侵入による塩害で枯れてしまった木を伐採し、チップにしてフィールドに散布し砂の飛散や雑草の繁茂を防止する試みを実施しています。現在までのところ、植林した苗木の生育は順調です。一部、海風が吹き抜けるエリアで枯れた苗木が多く見られましたが、防風柵を設置したことにより、概ね順調に生育しています。この活動は、震災直後の2011年8月からスタートし、2013年4月までに約1.4haのエリアの被害林の整理を完了。これまでにクロマツ、トベラ、マサキを合計約15,000本（補植分を含む）を植林しました。今後数年は夏期に下草刈りを行い、健全な海岸林へと育てていきます。

◎このプロジェクトは、トヨタ環境活動助成プログラム、千葉県環境財団「豊かで美しいちばの自然環境保全活動支援事業」、競輪補助事業「ring! ring! プロジェクト」のご支援により実施しています。



PROJECT

東京都 檜原村 ツリークライミング体験会

森と親しみ、森を体感するためのプロジェクトです。檜原村で林業を営む、(株)東京チェーンソーズの協力を得て、檜原都民の森や藤倉地区の山林をフィールドに年に3～4回の体験会を開催しています。体験会はTCJ (Tree Climbing Japan) の公式のものです。また、体験会後には、森への恩返しのお気持ちも込めてプチ林業体験を実施。土留め柵の設置などの作業を行っています。



チェーンソー体験会・講習会

通常の森づくり活動では、ノコギリを使って伐採を行っていますが、もっと技術を身につけたい、林業のことをもっとよく知りたいという要望にお応えしてチェーンソー体験会、講習会を開催しています。チェーンソー講習会は、佐久・大沢の森をフィールドにNPO法人 信州そまびとクラブの協力を得て開催。8名の参加者があり、チェーンソーを使った安全な伐倒方法を座学と実地研修で学びました。また、チェーンソー体験会は、初めてチェーンソーに触れる初心者を対象に(株)東京チェーンソーズの協力を得て檜原村戸沢都行林をフィールドに開催。12名の参加者がありました。チェーンソーの安全な使い方を間伐を行いながら学びました。今後も、スキルアップのための講習会・体験会を開催していきたいと考えています。



CSR SUPPORT

三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社 様
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 様
国際投信投資顧問株式会社 様
MUS ビジネスサービス株式会社 様

4月13日（土） 千葉県山武市蓮沼殿下海岸（補植）
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社とその傘下の各企業から 24 名の社員ボランティアが集まり、約 600 本のクロマツの補植を行いました。すでに植林を終えた区域で、強い海風による飛砂や塩害、乾燥のために枯れてしまった枯れてしまった苗木を取り除き、新しい苗木に植え替えました。



株式会社八十二銀行 様

5月19日（日） 長野県上伊那郡中川村・陣馬形山牧場跡地（ミズナラ植林）
2013年に創立82周年を迎えた株式会社八十二銀行の長野県南信地域における記念ボランティア活動として、陣馬形山牧場跡地の8,200㎡の未利用放牧地に社員とご家族170名が集まり、ミズナラの苗木を植林しました。



コスモ石油エコカード基金／コスモ石油株式会社 様

6月1日（土） 長野県東御市田之尻地区（広葉樹植林）
コスモ石油エコカード会員様とコスモ石油株式会社の社員、合計20名が集まり、どんぐりの森での生物多様性に関する森林学習と植林体験を行いました。



CSR SUPORT

シティグループ 様

6月22日(土) 千葉県匝瑳市堀川浜付近の津波被害林 (枯損木伐採)
世界的な金融グループであるシティグループの「グローバル・コミュニティ・デー」の一環として、シティグループ各社の社員とご家族約80名が参加し、津波被害林の枯損木伐採を行いました。



モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 様 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 様

7月6日(土) 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 (下草刈り)
モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社と三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社は、ジョイント・ベンチャー発足3周年を記念した共同ボランティア活動として、蓮沼殿下海岸の植林地の下草刈り作業を実施。両社から社員約50名が参加し、夏の強い陽射しの中、生い茂った雑草を手鎌で刈り取り、苗木が順調に育つよう手入れを行いました。



積和建設東関東株式会社 様

7月10日(水) 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 (下草刈り)
積水ハウスグループの施工会社である積和建設東関東株式会社のエクステリア事業部の有志10名がボランティア活動として下草刈りを行いました。



CSR SUPPORT

TOTO バスクリエイト株式会社 様 / TOTO ハイリビング株式会社 様

7月21日(日) 千葉県山武市蓮沼殿下海岸(下草刈り)
千葉県佐倉市に本社があるバスタブなど風呂回り設備の製造会社、TOTO バスクリエイト株式会社と千葉県茂原市に本社があるシステムキッチン・洗面化粧台の製造会社、TOTO ハイリビング株式会社の社員とご家族、約20名が下草刈り作業を行いました。



株式会社 キッツ 様

8月24日(土) 千葉県山武市蓮沼殿下海岸(下草刈り)
千葉県千葉市に本社がある総合バルブメーカー、株式会社キッツの社員とご家族、34名がCSR活動の一環として津波被害林の下草刈り作業を行いました。



株式会社八十二銀行 様

9月28日(土) 長野県木島平村カヤの平高原牧場(ブナ移植)
2013年に創立82周年を迎えた株式会社八十二銀行の長野県北信地域における記念ボランティア活動として、カヤの平高原牧場の未利用放牧地に頭取以下約170名が集まり、ブナの実生の苗の掘り採りと移植作業を行いました。



CSR SUPPORT

シティグループ 様

10月12日(土) 神奈川県横浜市港北区綱島西の鶴見川河岸(環境回復活動)
シティグループの秋のCSR活動として横浜を流れる鶴見川河岸に生えるアレチウリなどの
外来植物の除去とオギの移植を行い、本来の自然環境へ回復させる手助けをしました。
協力：NPO法人鶴見川流域ネットワーク



伊藤忠建材株式会社 様

10月12日(土)～13日(日) 木島平村カヤの平高原牧場「地球樹の森」(ブナ移植)
建材専門商社の伊藤忠建材株式会社は、木島平村と森林の里親協定を締結し、2haの未利用
放牧地を「地球樹(ちきゅうぎ)の森」と名付け、3年間にわたってブナの苗を移植し、森
づくり活動を行っています。



前田建設工業株式会社 様

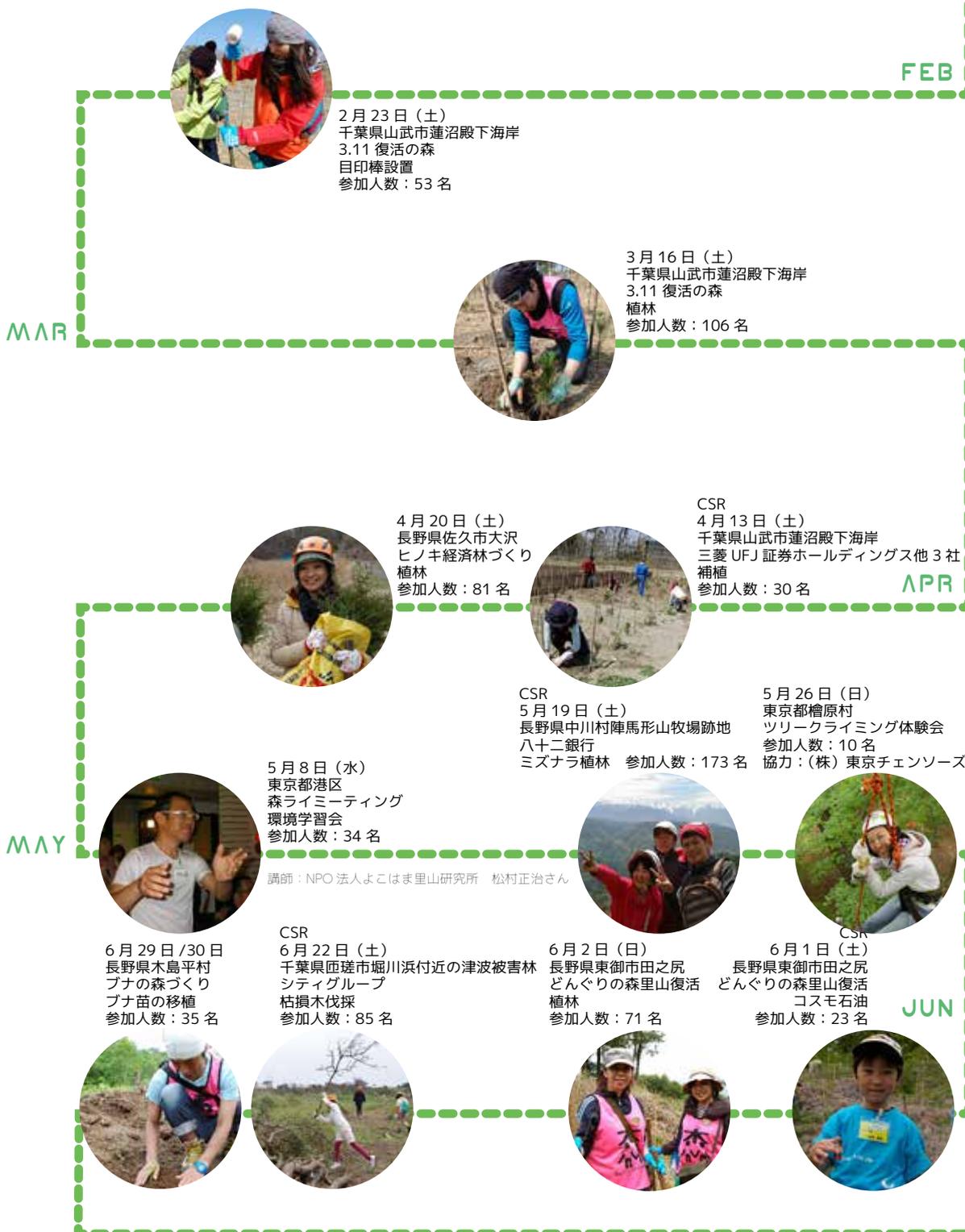
11月2日(土) 長野県佐久市大沢「MAEDAの森」(伐採&地拵え)
総合建設会社の前田建設工業株式会社は、同社が森林の里親協定を結んでいる「MAEDAの
森」で、来春実施する植林のための灌木の伐採と地拵え作業を、グループ会社も含めた社員
とご家族44名で行いました。



CALENDAR

2013年に一般参加と企業CSR活動サポートを合わせて32回のイベントを開催しました。これらの活動は、競輪補助事業「ring! ring! プロジェクト」、国土緑化推進機構「緑の募金」、トヨタ環境活動助成プログラム、コスモ石油エコカード基金、環境再生保全機構「地球環境基金」、東京ガス環境おうえん基金、三機工業「SANKI YOU エコ貢献ポイント」などのご支援のもと、行うことができました。

2012)) JAN 2013



CSR
7月6日(土)
千葉県山武市蓮沼殿下海岸
三菱UFJモルガンスタンレー証券ほか
下草刈り
参加人数: 55名



CSR
7月10日(水)
千葉県山武市蓮沼殿下海岸
積和建設東関東
下草刈り
参加人数: 14名



CSR
7月21日(日)
千葉県山武市蓮沼殿下海岸
TOTOバスクリエイト
下草刈り
参加人数: 22名



7月27日(土)
長野県佐久市大沢
ヒノキ経済林づくり
下草刈り
参加人数: 48名
協力: 伝統肉協会



JUL

8月31日(土)
長野県東御市田之尻
どんぐりの森里山再生
下草刈り
参加人数: 62名



8月25日(日)
千葉県山武市蓮沼殿下海岸
3.11 復活の森
下草刈り
参加人数: 45名



CSR
8月24日(土)
千葉県山武市蓮沼殿下海岸
キッツ
下草刈り
参加人数: 39名



8月11日(日)
長野県東御市田之尻
どんぐりの森里山再生
生物多様性調査
参加人数: 9名



8月3日(土)
東京都檜原村
ツリークライミング体験会
参加人数: 15名
協力: (株) 東京チェーンソーズ



AUG

SEP



9月7日/8日
長野県木島平村
ブナの森づくり
ブナ苗の移植
参加人数: 38名

CSR
9月28日(土)
長野県木島平村
八十二銀行
ブナ苗の移植
参加人数: 170名



10月19日(土)
長野県佐久市大沢
ヒノキ経済林づくり
伐採&地拵え
参加人数: 40名



CSR
10月12日/13日
長野県木島平村
伊藤忠建材「地球樹の森」
ブナ苗の移植
参加人数: 25名



10月5日/6日
長野県木島平村
ブナの森づくり
ブナ苗の移植
参加人数: 34名



OCT

CSR
11月2日(土)
長野県佐久市大沢
前田建設工業
伐採&地拵え
参加人数: 53名



11月9日(土)
東京都檜原村
ツリークライミング体験会
参加人数: 14名
主催: 東京ひのはら地域協議会
協力: (株) 東京チェーンソーズ



CSR
10月12日(土)
神奈川県横浜市港北区
シティグループ
鶴見川環境回復活動
参加人数: 48名



11月16日(土)
長野県佐久市大沢
ヒノキ経済林づくり
伐採&地拵え
参加人数: 64名
協力: 伝統肉協会



NOV

12月14日(土)
東京都檜原村
チェーンソー体験会
参加人数: 17名
協力: (株) 東京チェーンソーズ



12月7日(土)
長野県佐久市大沢
ヒノキ経済林づくり
伐採&地拵え
参加人数: 58名
協力: デンマーク王国大使館



DEC

>>2014

DATA

2013年の森ライの“数字”をご紹介します。

1,584_人

2013年の一般参加の森づくりツアーと企業 CSR 活動での森づくりに参加してくれた方の延べ人数。



21,600_本

2013年に植林した苗木の本数です。



32_回

2013年に実施した一般参加の森づくりツアー、企業 CSR 活動サポート等の延べ回数です。



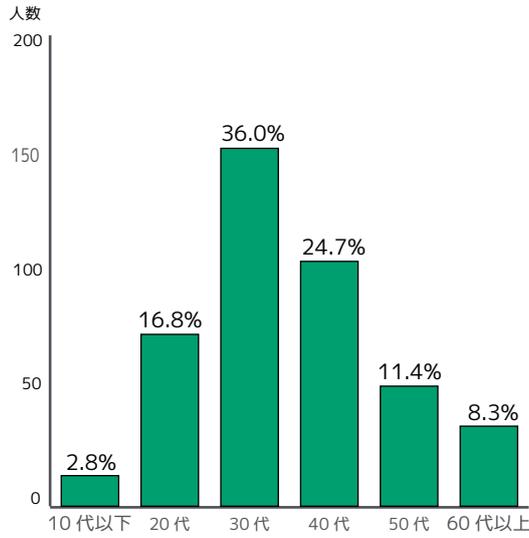
9.92_{ha}

2013年に地拵え、植林、下草刈りなどを行ったフィールドの延べ面積です。



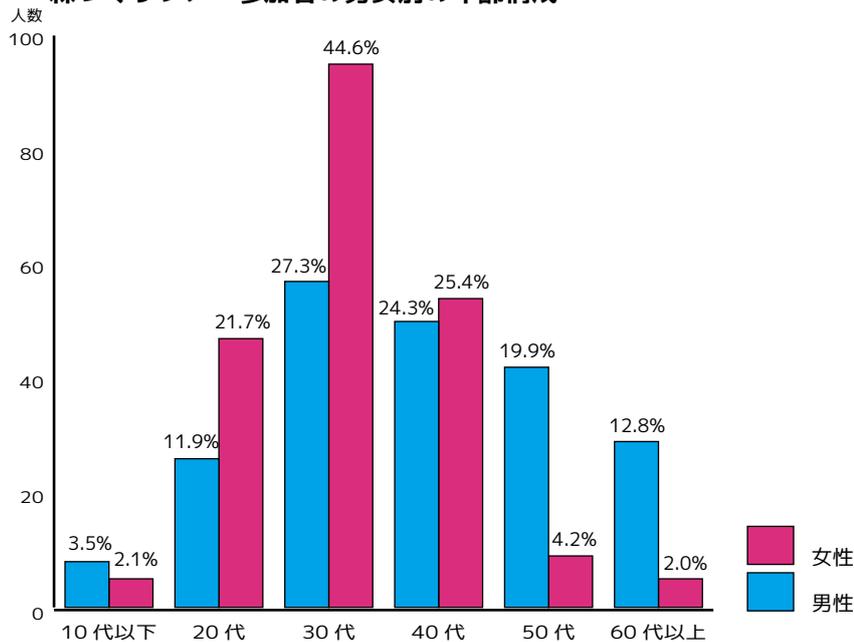
DATA

森づくりツアー参加者の年齢構成

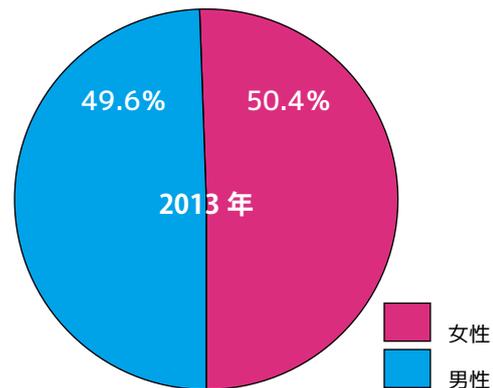
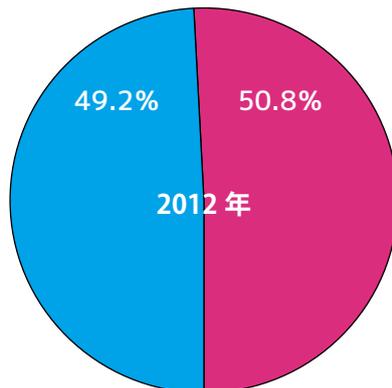


男女別に見ると、女性は30代が多く40代と20代で大半を占めます。男性も30代がもっとも多く40代、50代となだらかに分布しています。また、20代から40代では女性の参加者が男性を上回っていますが、50代以上になると男性の参加者が大きく上回っています。

森づくりツアー参加者の男女別の年齢構成



2012年と2013年の参加者の男女構成比は、ほぼ同じです。

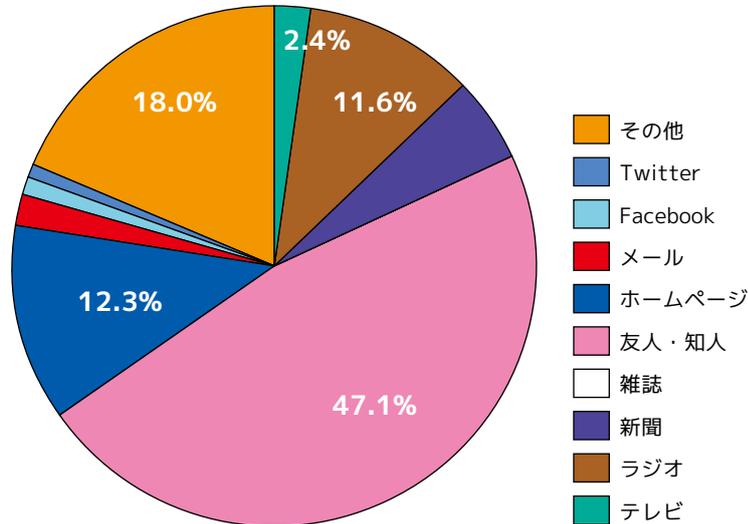


2013年に実施した一般参加の森づくりツアー (Act01 ~ Act13) のアンケート結果から集計

DATA

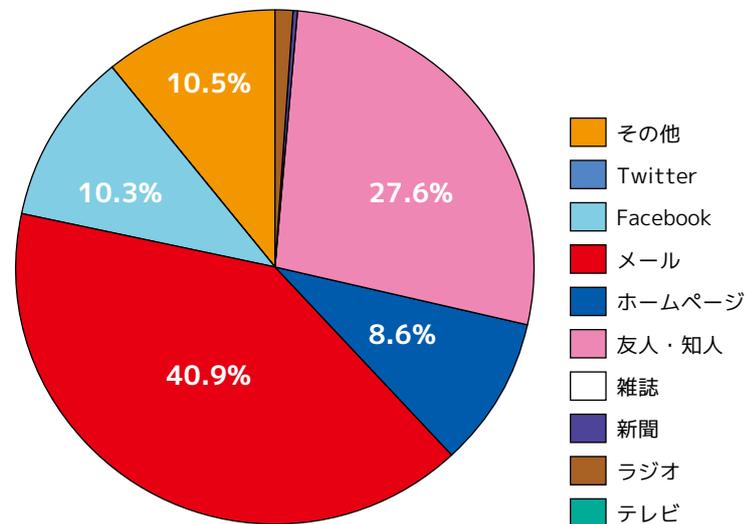
森のライフスタイル研究所の認知経路

森のライフスタイル研究所の認知経路は、「友人・知人から聞いた」というのが約半数。次に多かった「その他」の内容は、「会社の CSR 活動を通じて知った」、「エコプロ展で知った」などでした。また、「ラジオで知った」方も 11.6%ほどいます。これは、ほとんどが J-WAVE に代表・竹垣が出演したときのもの。テレビを見て知ったという方も 2.4%。これは、2010 年にオンエアされた TBS テレビの情報番組「王様のブランチ」を見た方がほとんどです。電波メディアの力は大きいですね。



森づくりツアーの認知経路

一方、2013 年の森づくりツアーの認知経路では、「メールで知った」というのがトップの 40.9%。「友人・知人から聞いた」は次点の 27.6%でした。約 3 割の人が口コミの力で森づくりに参加してくれています。また、その次に「Facebook で知った」という方が 10.3%。「ホームページで知った」という方の 8.6%と続いていて、インターネットメディアの力も見過ごせないものがあります。



森のライフスタイル研究所の Facebook ページ
<https://www.facebook.com/moridukuri>



森のライフスタイル研究所のホームページ
<http://www.slow.gr.jp/>

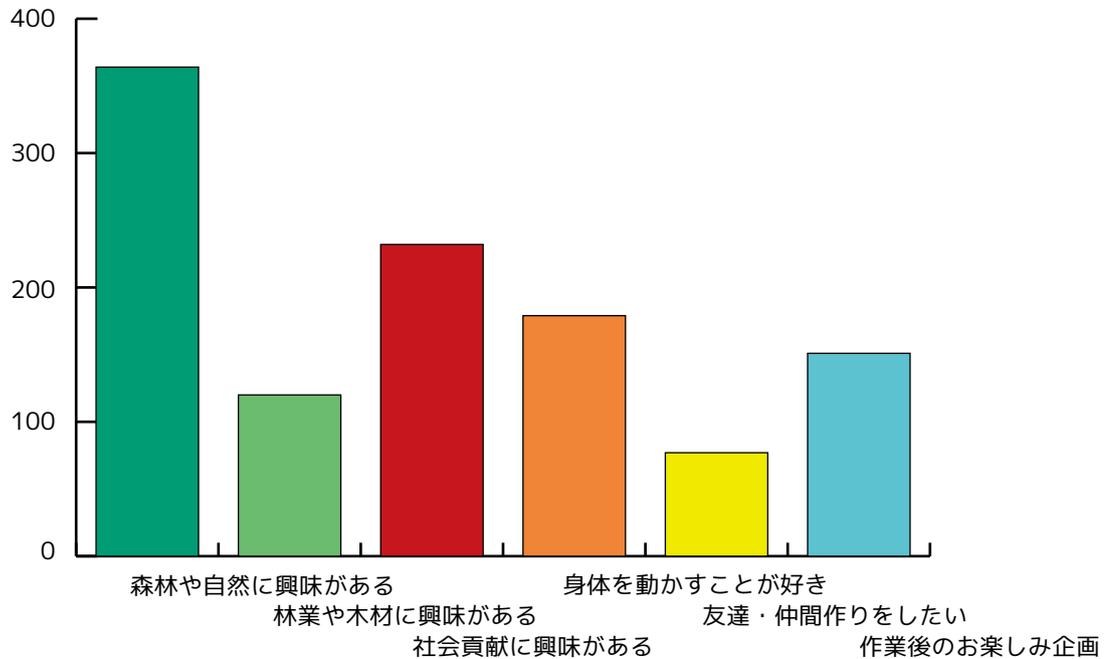


DATA

森づくりツアーへの参加理由

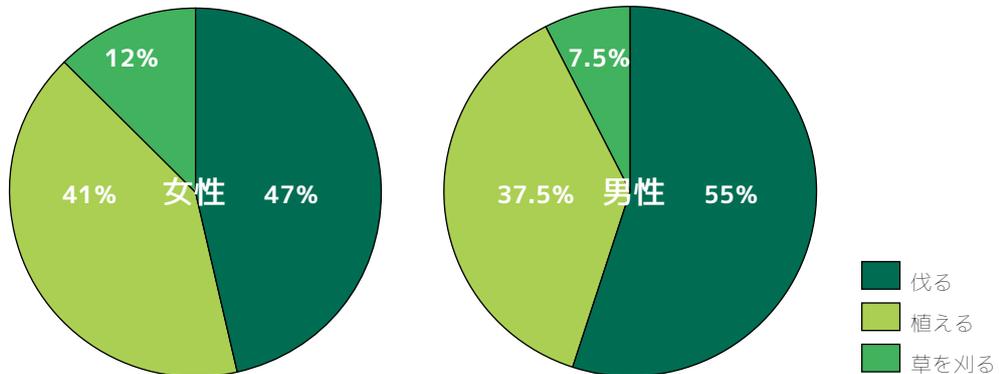
なぜ、森づくりツアーに参加していただけたのでしょうか？その理由を聞いてみました。1位は、「森林や自然に興味がある」から。次が「社会貢献に興味がある」という回答でした。「作業のお楽しみ企画」が目当ての方も少なくないようです。

森のライフスタイル研究所の森づくりツアーでは、毎回、作業後にイチゴ狩りやブドウ狩り、バーベキュー、エゾシカ肉カレー、ワイナリー見学、酒蔵見学などお楽しみ企画を設けています。森づくりをするだけでなく、その地域の人々と少しでも関わり合い、応援したいと考えているからです。



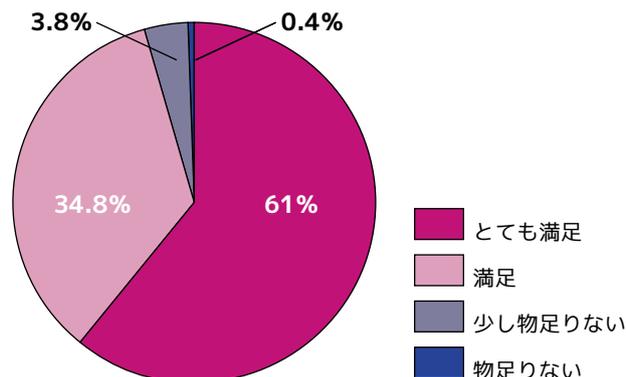
森づくりで好きな作業

男女ともに「木を伐る」のがいちばん好きようです。若干ですが「下草刈り」は女子の方に人気があるようです。



森づくりツアーの満足度

約6割の参加者から「とても満足」との回答をいただきました。しかし、まだまだ課題は多いと思っています。より多くの皆さまにご満足いただける森づくりをめざします。



2013年に実施した一般参加の森づくりツアー（Act01～Act13）のアンケート結果から集計

2014 ACTIVITY

2014年も森のライフスタイル研究所は、参加者の皆さんと共に森づくり活動を粛々と続けていきます。今まで続けてきたプロジェクトに加えて、新たに2つのプロジェクトがスタートします。これからも皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ヒノキの経済林づくりプロジェクト 長野県佐久市大沢地区



2010年11月にスタートしたヒノキの経済林づくりプロジェクトは、今年の4月に最後の植林を行います。これにより3haの予定したフィールドへの地拵え・植林の作業を終えることができます。しかし、植林後、5～7年ほどは夏の間には下草刈りをする必要があるため、今後も下草刈りを続け、苗木の生育を見守ります。現在のところ、植林したヒノキの苗木の生育は順調です。大沢地区にもニホンジカが出回っていますが、それほど大きなシカによる食害は出ていません。将来的には、適正な除間伐を行い、下層の植生も豊かな美しい森に育てていきたいと思っております。

2014年の活動
4月：4回目の植林（2,000本）
7月：下草刈り

どんぐりの森 里山再生プロジェクト 長野県東御市田之尻地区



どんぐりの森も2011年から2013年までに3回の植林を実施し4haのエリアにコナラやヤマザクラなどの広葉樹の苗木、約12,000本を植え終わりました。今年は、下草刈りを実施します。このフィールドは、日当たりが良く雑草の繁茂が著しく、とくにクズ、ヤブカラシなどのツル性の植物が苗木に絡みついているので丁寧な下草刈り作業を行う必要があります。

2014年の活動
8月：下草刈り

3.11 復活の森プロジェクト 千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林



2011年より1.4haの津波被害林の整備を終えました。現在までのところ、苗木は順調に生育しています。2014年は、数回の下草刈りを一般参加者と企業様のボランティアによって行っていきます。また、内陸側のクロマツも枯損が多く見られるため、今年はこのフィールドの枯損木を伐採し、3月に植林のための目印棒設置を行い、4月にクロマツ等の苗木を植林します。海岸防災林の復興をめざして活動していきます。

2014年の活動
3月：目印棒設置
4月：植林（6,000～8,000本）
7～8月：下草刈り（数回）

2014 ACTIVITY

和田峠スキー場跡地を森へ還すプロジェクト 長野県長和町和田峠スキー場跡地



和田峠スキー場跡地を森に還すプロジェクトも4年目を迎え、今年はいよいよゲレンデの最上部に植林を行います。旧中山道で最大の難所として名高い和田峠は標高も1,500mを超え、斜度も急ですが、皆さんの力を借りて今年は2回にわたり、合計4,000本のカラマツを植える予定です。この周辺もシカが多く生息していますが、今のところ大きな食害には遭っていません。

2014年の活動
5月、6月：植林（4,000本）
10月：活動報告会（都内）

カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト 長野県木島平村 カヤの平高原牧場



ブナの移植は、2年目に突入します。昨年、移植した実生のブナの苗木たちが、厳しい冬を越し5月の雪解け時に元気な顔を覗かせてくれるかどうか一つの試練です。今年も昨年と同様に林縁部から実生の苗を掘り起こし、ベルト状に表土を剥ぎ取ったエリアに移植していきます。苗の運搬の方法など、改善すべき課題はたくさんありますが、300年後の世界自然遺産を目指してブナの森づくりを進めていきます。

2014年の活動
6月、9月、10月：植林

ツリークライミング体験会 東京都檜原村

今年も（株）東京チェーンソーズの協力を得て、檜原村で4回にわたりツリークライミング体験会の開催を予定しています。毎回、プチ林業体験も実施。森への恩返しの気持ちも込めて、土留め柵の設置や地拵えなどの軽作業を行います。森づくりに限らず広く森や林業と触れ合う機会を作り、多くの方が森の素晴らしさを実感し、森への関心を深めてもらえるよう心がけます。

2014年の活動
4月、5月、8月、11月：体験会

チェーンソー講習会 長野県佐久市・東京都檜原村

詳細は未定ですが、今年も森づくりのスキルを向上させるために、NPO法人信州そまびとクラブ、（株）東京チェーンソーズの協力を得て、チェーンソー講習会を開催したいと計画しています。安全な伐倒方法を実地で学ぶことで、これからの森づくりをより内容の濃い活動にしていきたいと思います。

2014年の活動
開催時期未定



2014 ACTIVITY NEW PROJECT

NEW アカマツの森 里山復活プロジェクト 長野県伊那市富県

今年から取り組む新しいプロジェクトです。伊那地方には、昔から「木曽のヒノキ、伊那のアカマツ」といわれるように豊かなアカマツ林が広がっていましたが、近年、森の手入れが疎かになりアカマツ林が衰退しています。アカマツは貧栄養な土壌を好みますが、手入れがなされないため林内に落ち葉が堆積し富栄養な土壌となり生育に適さなくなっているのです。弱ってきたアカマツは、マツクイムシの被害を受けやすく、衰退は加速しています。そこで、森のライフスタイル研究所が、伊那・富県のアカマツ林を1960年代の里山が元気だった頃の状態に戻す活動を行います。春から初夏に「柴かき」を行い林内の落ち葉を掻き取ります。夏からは除伐、冬には間伐を行い林内に光を取り入れます。これらは、アカマツ林の副産物ともいえるマツタケが生育しやすい環境をつくるための作業です。富県の12haのアカマツの森を今後3年間をかけて整備を行い、マツタケの生える山に変えていきます。

2014の活動

5月：柴かき

10月：菌根菌調査（マツタケの生えやすい環境づくり）

11月：間伐



NEW 薪の森 里山復活プロジェクト 長野県佐久市大沢

ヒノキの経済林づくりプロジェクトを行っている佐久市大沢地区で新しいプロジェクトを立ち上げます。荒廃している大沢財産区の森を整備（伐採 & 地拵え）し、コナラの木を植林して将来、薪として利用できる里山林に変えていきます。すでに生えているコナラのドングリを拾い、地域の未利用の畑を借りて苗作り（ドングリ還し）も計画しています。

2014の活動

10月：伐採 & 地拵え

11月：伐採 & 地拵え

12月：伐採 & 地拵え



NEW おにいさんと遊ぼうプロジェクト 東京近郊

森のライフスタイル研究所が、これまで培ってきた森林体験や環境教育のノウハウを活かし、東京都内の母子家庭や養護施設で暮らす子どもたちに向けた支援活動を新たに展開します。東京近郊の森での植林や間伐体験、木を使った工作、ツリークライミングやそれに伴う環境教育を年24回程度開催。森での様々な体験は、心身ともに子どもたちの健全な生育を助けます。また、植物や野生動物との関わり合い方を通じて、子どもたちの“生きるチカラ”を大いに育んでいきます。

このプロジェクトは、FIT チャリティラン (Financial Industry in Tokyo For Charity Run) 2013のご支援を受けて実施いたします。



SUPPORT US

NPO 活動はこれまでボランティア（無報酬）、個人の献身と受け取られてきました。しかし現在では、各団体が目的を達成するために「経営の視点」から新しい活動を展開するという社会企業家的な発想で団体の運営および資金調達を考える時期に達しています。NPO 団体は無償のボランティアではなく、利益や報酬を受け取りながら、その団体が目的とする「公益的な活動」を行わなければなりません。森のライフスタイル研究所の活動は、国や県などの援助に頼るものではなく、地域住民との話し合いや協働活動などの支援に多くを支えられています。

ぜひ、森のライフスタイル研究所の活動内容にご賛同いただき、支援者の一人となって、新しい森林づくりプロジェクトに関っていただけますよう、お願い申し上げます。

また、森のライフスタイル研究所では、企業の CSR 活動・環境活動の企画立案、実施運営等のお手伝いもしています。社会的な意義があり、参加する社員やご家族の皆様にご満足いただけるさまざまな活動をご提案いたします。お気軽にご相談ください。



森のライフスタイル研究所 個人サポーター会員募集のご案内

持続性のある森づくり活動を展開していくためには、森づくり活動への皆さまのご参加も必要ですが、財政支援も大きな力となります。今まで森のライフスタイル研究所では、個人サポーター（賛助会員）を表立っては募集していませんでした。しかし、活動の幅を広げ、より多くの方々と森づくりを推進していくためには、どうしても財源の安定が必要となります。そこで、新たにサポーター制度を導入させていただくことにいたしました。皆さまからのお力添えをお願いいたします。

●個人サポーター会員 会費：年間 5,000 円

【サポーター会員の特典】

- ・ 森ライピンバッジを進呈
- ・ 森ライ開催イベントへの優先ご招待
- ・ 森ライ販売グッズのご優待（詳細は未定です）
- ・ 森ライ白書を進呈
- ・ サポーター会員向けの勉強会、セミナーを開催（計画中）…etc.



お申し込み・お問合せは、下記までお気軽に。

TEL：03-6205-6206 FAX：03-6205-6224
電子メール：info@slow.gr.jp

SPECIAL THANKS TO

森のライフスタイル研究所の森づくりにご協力いただいた皆さま。ありがとうございます。

アド・コマーシャル株式会社、上伊那森林組合、木島平観光株式会社、グローリー株式会社、佐久市大沢財産区、信州上小森林組合、NPO 法人 信州そまびとクラブ、独立行政法人 森林総合研究所、信州大学農学部、スーパーストックトーキョー、企業組合 千葉県森林整備協会、千葉県北部林業事務所、NPO 法人 ちば里山センター、千葉大学園芸学部、NPO 法人 鶴見川流域ネットワーク、デンマーク王国大使館、NPO 法人 伝統肉協会、株式会社 東京チェンソーズ、東京ひのはら地域協議会、東御市田之尻里山整備推進委員会、トレンダーズ株式会社、長野県林務部、長野県北信地方事務所、長野県上伊那地方事務所、長野県佐久地方事務所、長野県木島平村、長野県上小地方事務所、長野県佐久市、長野県東御市田之尻地区公民館、長野県中川村、長野県長和町、パリスト株式会社、檜原都民の森、NPO 法人 響、株式会社ピースフル、NPO 法人 フォーエバーツリーネットワーク、マムートスポーツグループジャパン株式会社、有限会社 みずほ観光、瑞穂木材株式会社、和信化学工業株式会社（あいうえお順）

あなたの本が、森になる。

Book for Forest

Book for Forest は、不要になった「本」を「森づくり」に役立てる画期的な取り組みです。個人や会社で不要になった本や CD、DVD を提携会社のバリューボックスがお引き取りし、査定し、買い取ります。その買い取り額が森づくりのための資金として NPO 森のライフスタイル研究所に寄付される仕組みです。送料は、バリューボックスが負担します。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| ①申込書（古書の譲渡承認書）をダウンロード。 | ④宅配業者さんをご指定の日時に本を引き取ります。 |
| ②不要な本と申込書を段ボール箱等につめる。 | ⑤バリューボックスが査定し、買い取り額を寄付。 |
| ③バリューボックスに電話をして引き取り希望日時を伝える。 | ⑥寄付されたお金が森づくり活動に使われます。 |

※ISBN コードのない本、個人出版の本、百科事典、コンビニコミック、マンガ雑誌、一般雑誌はお取扱いできません。

◎詳しくはホームページ <http://www.slow.gr.jp/books/index.html> をご覧ください。



森のライフスタイル研究所

NPO 法人森のライフスタイル研究所
2015年5月より下記に移転いたしました。
〒160-0022 新宿区新宿 1-23-16 第二得丸ビル 401号
電話：03-6274-8982 FAX：03-6274-8983
<http://www.slow.gr.jp/>
【本部】長野 【オフィス】東京、栃木、京都

(2015.05.07 改定)